

初めてパロアルトを訪問して

土浦市国際交流協会 青木 規幸

10/3（木）～10/7（月）まで5日間、安藤市長、島岡議長、土浦市国際交流協会から柴沼会員、平澤会員、高野会員、青木会員、市役所より櫻井局長、大貫課長と9名でパロアルトに訪問をしてまいりました。全員は初めてのパロアルト訪問ということで、ドキドキワクワクの渡米となりました。

10/3（木）16：30に成田国際空港に集合して、いざ出発。行きの飛行機ではゆったりと座ることができて、のんびりとフライトの旅を楽しみました。そして現地時間の11：25にサンフランシスコ空港に到着しました。そこからバスでの移動となりました。

まず初めに、中学生交換交流事業でもお世話になっているJLS中学校に訪問をいたしました。日本語教室を見学させていただき、グループディスカッションにも参加しました。6月の交換交流事業に参加したお子さんとも会って話をすることができました。授業の見学後、JLS中学校にてネイバーズアブロードのサラ会長をはじめ、エブリン副会長などにもお世話になり、校長先生の素晴らしいスピーチの後で今回の参加者の皆さんやネイバーズアブロードの皆様とご一緒に記念植樹（チェリー）をいたしました。この交流事業がさらに深まり友好関係が続くことを祈念して、記念植樹を行い、この樹の成長を願ってまいりました。

その後、Mitchell Park 図書館を見学いたしました。たくさんの種類の本があり、子ども達も利用しやすい工夫がされていることなどを学びました。ガイドの方の説明がすごく分かりやすくて良かったです。

そしてホテルにチェックインをして、夕食会に移動しました。夕食会は、

ネイバーズアブロードのサラ会長ご夫妻や次期会長およびパートナー、エブリン副会長ご夫妻、ジェニファー前副会長とともにイタリアンレストランで食事をしました。サラ会長より会長のご自宅のワインセラーから15周年を記念して2009年のとても美味しいワインをいただきました。カリフォルニアのナパヴァレーのワインはすごく有名で飲んでみたかったので、すごく嬉しかったです。初日から素晴らしい体験や機会をいただき感動しました。



10/4（金）6：00 ごろに起床して3時間くらいホテルの近所をお散歩しました。そして集合時間に間に合うようにホテルに戻り、シャワーを浴びて出発。

2日目は、ジェニファー前副会長がはじめにスタンフォード大学を案内してくださいました。ジェニファーさんはスタンフォード大学を卒業され不動産業に従事された方です。大学時代の話やスタンフォード大学のエピソードなどいろんなお話をお聞かせくださいました。メモリアルチャーチも本当に大きくてびっくりしましたし、フーバータワーから見下ろしたスタンフォード大学の広さに圧倒されました。建物の中には、ビルゲイツが寄贈した建物や日本人も建物を寄贈したお話を伺いました。私はスタンフォード大学のショッピングセンターで少しだけお土産なども購入しました。（なんかカッコよく見えちゃいました）

そしてジェニファーさんの案内で、ランチはオーガニックのお店へ。や

やはりアメリカは食事にもいろいろ気を使っているのだと実感しました。食後、中学生交換交流事業でお世話になっているグリーン中学校を訪問しました。この中学校でも日本語教室を見学させていただきました。そして午後から着替えてパロアルト市庁舎にてパロアルト市長および市議団、職員の方々、ネイバーズアブロードの役員の皆様と水資源問題と自転車政策についてディスカッションをおこないました。私からは、朝、お散歩で見た自転車による登校の様子について感じたことを意見させていただきました。素晴らしいディスカッションができたと思います。終了後、皆さんで議場を見学し、記念撮影を行いました。その後、私たちは移動してPA Public 図書館の見学をさせていただきました。ここでもモニュメントの前で記念撮影をしました。

そして夜には、姉妹都市締結15周年記念祝賀会がパロアルト市長ご夫妻やネイバーズアブロードの方にお招きいただき開催されました。日本からは、私たちの他に来賓として在サンフランシスコ日本国総領事館の水野領事もご出席されていました。同じテーブルだったのでいろいろお話をすることができました。祝賀会ではサラ会長からこれまでの友好関係を映像でご紹介いただきました。生演奏などもあり、ネイバーズアブロードの方々がお料理を振舞ってくださり、とても心温まる催しでした。祝賀会の中で安藤市長と私からご挨拶をさせていただきました。この挨拶の場面では、私は英語を話すことができないので、とても緊張しました。無事にできて良かったです。またこの祝賀会には、これまで土浦に来られた多くの皆さんがご出席をされていて、いろんな方と久しぶりにお会いできて、とても嬉しかったです。やはりお会いしたことのある方々がいてくれたので、とても嬉しく楽しかったです。無事に大事なミッションが終わったと気持ちもだいぶ楽になりました。



10/5 (土)

前日に祝賀会など大事なミッションを終えて、やっとフリーの時間を持つことができました。この日は、参加者の皆さんと Google 本社の見学に行ったり、サンフランシスコに移動してサンフランシスコジャイアンツの本拠地であるオラクル・パークを見学したり、昼食でフィッシャーマンズワーフにてシーフードやパスタを食べたり、アルカトラス島を見たり、ゴールデン・ゲート・ブリッジを観光したりしました。

そして夕方、カリフォルニア州立大学バークレー校に移動しました。ネイバーズアブロードのサラ会長やエブリン副会長ご夫妻の母校にてアメリカンフットボールの試合（マイアミ大学との対戦）を観戦しました。すごい迫力で素晴らしい体験をさせていただきました。また、スタジアムから見たサンセットの美しさに感動しました。サラ会長ご夫妻やエブリン副会長ご夫妻、スミスさんご夫妻などに大変お世話になりました。



10/6(日)

最終日は、朝から参加者皆さんとホテル近くのハッピードーナッツで楽しく朝食をいただきました。島岡議長のお心遣いには感謝いたします。さすが議長おすすめのお店で、皆さんと楽しい最終日のスタートとなりました。ですが、ホテルに戻り、荷物を整理してホテルをチェックアウト

し、そこから空港へ。空港で出国手続きをして、ゆっくり免税店でお土産を購入して飛行機で帰路に。10/7（月）の夕方に成田空港に無事に帰って帰ることができました。



この度、初めてパロアルトを皆様と訪問ができたこと誇りに思っております。現地で大変お世話になりましたパロアルト市長、ネイバーズアブロードのサラ会長ご夫妻やエブリン副会長ご夫妻、ジェニファーさん、スミスご夫妻、心温まるおもてなしをしていただき感動の連続でした。また、安藤市長のリーダーシップ、島岡議長のお心遣いなども一緒できて大変勉強になりました。また同行してくださった会員の皆さんも素晴らしい方々ばかりで楽しく旅をすることができました。これも市役所の大貫課長や桜井局長の気配りのお陰だと思います。HISの添乗員さん、通訳さん、皆さんに支えられ事故やケガもなく無事にこの訪問を楽しむことができました。本当にありがとうございました。

パロアルト市と土浦市の心の絆を未来へ

土浦市国際交流協会 平澤 慧健

今回のパロアルト市訪問に関しては、とてもすばらしい歓迎を受けたと私は感じております。これは土浦市の関係の皆様が、パロアルト市の皆様へのおもてなしが良かったからだと思います。おかげさまで、私は視野が広がり有意義な経験をすることができました。

私は、かすみがうらマラソンに何回かボランティアで参加した事がありますが、その際、パロアルト市からの招待選手と知り合い、今回パロアルト市でお会いでき、しかも、私の事を覚えていていただいたので、とても感動しました。交流のおかげだと思いました。

両市の交流は平成5年からになります。ここまで交流が盛んになったのは、先人の皆様の地道な努力と前向きな姿勢があったからこそと思います。改めて、その努力に感謝と敬意を表したいと思います。両市の未来への交流に、私自身も微力ではありますが、これらも協力していきたいと思っています。

今回の訪問について、人と人との繋がり、コミュニケーションの重要性を強く感じ、また視野が大きく広がりました。みなさんと出会えたことに心から感謝しております。一生忘れない思い出となりました。本当にありがとうございました。

最後に、今回の訪問に際しご尽力いただきました安藤市長はじめ、市役所の事務局の皆様、土浦国際交流協会の皆様に厚く御礼申し上げます。



JLS 中学校

訪問の記念に桜の植樹を行いました。

みんなで愛の言葉をかけ成長を願いました。パロアルト市と土浦市の友好とともに大きく育ちますように。



スタンフォード大

フーバー大統領が大学設立 50 周年を記念して建てたフーバータワー。

2002 年にカリヨンが修復され、最上階で自動演奏が行われています。芸術を大切にする街だと強く印象に残りました。

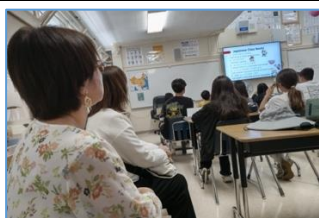


スタンフォード大

大学内に教会（メモリアルチャーチ）がありました。

装飾がとても豪華で、特に歴史を感じることができました。

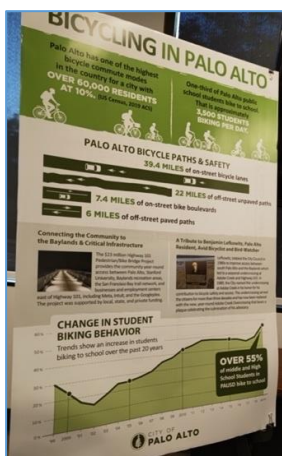
入学式や卒業式もここで行われます。卒業生はここで結婚式を挙げることもでき、大人気だそうです。素敵な思い出になりますね。



Greene 中学校

日本語を教えているクラスを見学させていただきました。日本語が重要だと認識されていると感じ、うれしく思いました。

ジャガーをマスコットとした中学校のグッズがありました。コミュニティの方針 (ROCKS : Respectful Open-minded Community of Kind and Safe student) は素晴らしいです。



市庁舎(シティホール)訪問にて意見交換会 ＜自転車に優しい都市について＞

国道 101 号線では歩行者・自転車用の橋が整備され、Google 本社や Meta 社の社員をはじめ、広く利用されています。

中高生の自転車利用は一時減っていたものの、この 20 年間で 3 倍あまり増えており、今は半数以上が自転車を利用しているそうです。CO2 を削減でき、健康にもいいので是非進めていただきたいです。

また、貴重な水資源の確保についてもいろいろ意見を交換しました。水リサイクルなど工夫しているそうです。



パロアルト市立図書館

本棚には中国語のコーナーもあり、日本語のコーナーもあり、多文化交流の環境があると感じました。

市内には5つの図書館があり、文化面が非常に大切にされていると感じました。バッグなど、図書館グッズもいろいろいただきました。



カリフォルニア記念スタジアム

ホストであるエブリン シマザキ・ナオキ夫妻らと大学フットボールを観戦しました。人が集まり活性化している街の力強さを感じました。

パロアルト訪問

土浦市国際交流協会 柴沼 恭子

USA、カリフォルニア州パロアルト市と土浦市が姉妹都市となって15周年。今年は土浦からパロアルトに訪問する番でした。公式訪問の詳細は市役所のホームページに載っております。公式行事は市長をはじめ全員参加で滞りなく遂行して参りました。

土浦国際交流協会のメンバーの一人として参加させていただいた私は個人的に面白いと思ったことを報告書代わりに書きたいと思います。

パロアルト市はシリコンバレー北部にあり、人口はおよそ69,000人ですが、図書館が5つもあります。とても教育水準の高い都市で、スタンフォード大学の町と言われています。スタンフォード大学は世界で最も多くの起業家を輩出している大学として知られており、Google、HP（ヒューレットパッカード）、ヤフーの創業者など、多くの起業家がスタンフォード大学を卒業しています。スタンフォード大学では、IT分野での起業を目指す学生を対象とした起業家育成プログラムも実施されているそうです。

今回、スタンフォード大学の中を案内していただきました。広大なキャンパスは一つの町の様で、多くの学び舎、タワー、教会などは荘厳な趣があり、庭園にはロダン作の彫刻が何体も置かれていました。そして手入れされた木々と芝生の中をリスが走り回る姿が可愛く、自然との調和も計算された美しい大学で、とても数時間では回れませんでした。

せっかくだからとGoogle社に行けたことも良かったです。Googleの敷地も広大で、中は信号機のついた車道路が通っています。Googleショップの周りの芝生の中には遊歩道や公園もあり、訪れた人々を楽しませて

くれ、可愛いカラフルな貸自転車を自由に乘って移動できます。公園には隠れミッキーならぬ隠れアンドロイドがいました。

三日目の最終日はサンフランシスコ観光に行きました。ゴールデンゲートブリッジ、フィッシャーマンズワーフ、アルカトラズ島などの代表的な観光名所があります。フィッシャーマンズワーフに行ったらこれを食べなくてはというのは蟹。シンプルな塩味でした。窓から見える栈橋には何頭ものアシカが寛いでいて、これは映画フォレストガンプで見た風景だと思えると嬉しくなりました。

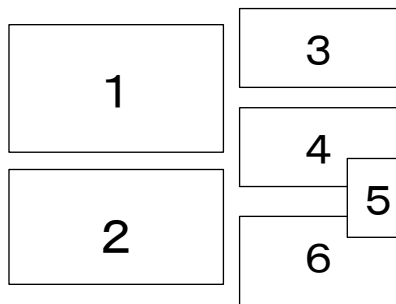
現地の通訳ガイドの話では、現在サンフランシスコのゲイの比率は3分の1以上。6月がゲイの月でパレードがあり、そこでは素裸で走る人もいます。L G P Tから更にQ I Aまで細分化されるパートナー関係は多様性を象徴しています。Mr. トランプは選挙運動で絶対にここを訪れないそうです。

更に珍しかったのは、街の中を Waymo という無人タクシーが普通に走っていることです。当然ながら運転席に誰もいないということに衝撃を受けます。夜は普通車も走っていないような時間帯に無人タクシーだけが何台も静かに動いていて、映画の中の近未来的な風景のようで、ちょっと不気味に見える時があると言っていました。

ギラデリチョコレートの本店でお土産を買って、再びパロアルト市へ。カリフォルニア大学バークレー校 vs マイアミ大学のフットボール観戦に招待して頂きました。全米に放映されたビッグな試合。夜空にドローンが描く数々のイラスト。応援グッズも用意してもらい初めて本格的な試合を観戦して、その雰囲気とエンターテイメントに感動。試合の興奮冷めやらぬままパロアルトのネイバーズの方々とお別れしました。

今回、交流会はもとより、たくさんの貴重な経験をさせて頂きました。

ありがとうございました。



1 3 4 Google 社にて
2 スタンフォード大学内の彫刻
5 6 フットボール観戦のスタジアムにて

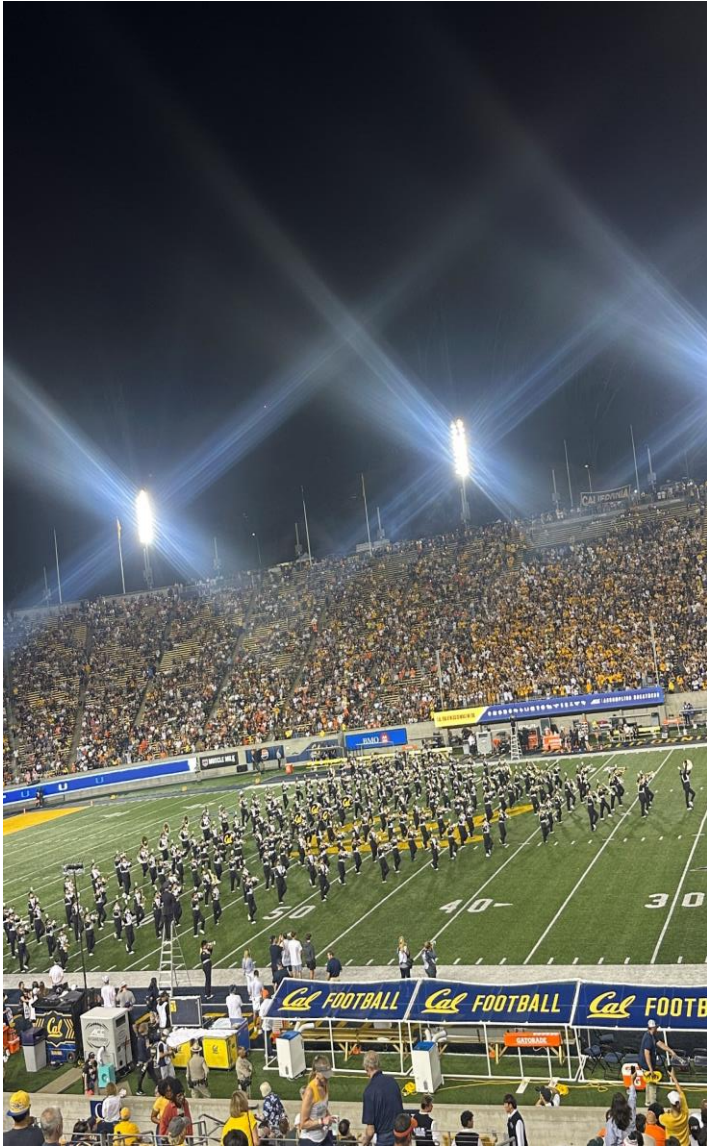
アメフトはカッコいい！ アメリカはカッコいい！

土浦市国際交流協会 高野 大輔

今回の訪問で私が感動したのは、カリフォルニア大学でのアメリカンフットボールの観戦です。その圧倒的な熱量に、鳥肌が立ちっぱなしでした。感情を揺さぶられました。試合前やハーフタイムのイベント、選手の入場、スタジアムの雰囲気と一体感、全てが感動でした。ESPN も中継に入るスポーツ DAY だったことも手伝い、選手の一挙手一投足に熱狂するスタジアムで、ただただ「カッコいい！」という言葉を連呼していました。アマチュアの試合で、大学生の試合でここまで盛り上がるのは、本当に驚きでした。これが全米人気 No.1 スポーツのアメフトか、これがアメリカのスポーツかと、そのスケールの大きさとエンターテインメントに圧倒されました。プロも含めて日本のスポーツ産業も大いに参考になるのではないかと思います。また、アメリカ国民が愛するアメフトをとおしたスポーツでの国際交流も手段として検討出来るのではないかと思います。

そして、今回ここまでアメフトを楽しめたのは、現地でフルアテンドしてくださったネイバーズアブロードのメンバーのお陰です。今回のような観戦は、個人旅行や日本の旅行代理店のツアーで参加することは難しく、交流団体であるネイバーズアブロードのご厚意とご協力があってこそです。このような機会を頂き、大変感謝しております。アメフトを観に、またアメリカに行きたいと思わせてくれるとても貴重な経験でした。

アメフトはカッコいい！ アメリカはカッコいい！



パロアルト訪問での学び

土浦市国際交流協会 青木 喜大

今回、土浦市とパロアルト市の姉妹都市 15 周年記念式典に参加するため、初めてのアメリカ訪問を果たしました。到着時のカラッとした空気と、異国の景色に興奮を感じました。

中学校見学では、日本語授業の見学を通じて、プライバシーへの配慮や発音重視の授業スタイルに驚き、日本の教育との違いを実感しました。

パロアルト・ネイバーズアブロードの会員の方々との交流会や祝賀会では、現地の多くの方々が参加してくださり、15 年にわたる交流の歴史を強く感じより良い協力関係の発展の必要性があると感じました。

現地の UC Berkeley や Stanford 大学を訪問し、広大な敷地や充実した設備、歴史ある建物そして、大学スポーツへの熱気、出身校を愛するその心に感動しました。

その他にも、現地の政治の仕組みや平等性、発展性を追求した先進的な取り組みに触れ、とても興味深く感じました。

全体を通して、アメリカと日本の文化や制度の違いを大きく実感するとともに、双方に優れた部分があることを感じました。また、中学生の交換交流など、15 年の歴史が築いてきた交流の重みを再確認しました。この縁がさらに進展し、双方の市やその住民の皆様の発展に寄与することを願っています。

最後に、パロアルトの方々、同行させていただいた皆様には、この度本当にお世話になりました。再びパロアルトを訪問したいと強く思ってお

り、今回の経験を自分の糧としたいと考えています。

